

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語表現
科目基礎情報					
科目番号	0027		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	プリントを配布、『漢検漢字学習「トレーニング3/準2/2級」(改訂版) 日本漢字能力検定協会(継続使用)				
担当教員	加藤 達彦, 小林 美鈴				
到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>正しい文の構造を理解し、文のねじれや不適切な表現を直すことができる。</li> <li>広く社会に関心を持ち、自己の考えを社会に向けて表現することができる。</li> <li>説明文のルールを理解し、論理的でわかりやすい説明文を書くことができる。</li> <li>敬語の種類を理解し、状況に応じて適切な敬語を使うことができる。</li> <li>現代仮名遣いの本則を理解し、間違いを直すことができる。</li> <li>電子メールの特性を理解し、適切に運用することができる。</li> </ol>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	広く社会に関心を持ち、自己の考えを他者に強く訴える文章を書くことができる。	広く社会に関心を持ち、自己の考えをまとめ、ねじれや誤字、脱字のないように書くことができる。	社会に関心を持つことができず、自己の考えを書くことができない。		
評価項目2	説明文や電子メールのルールを理解し、論理的かつ簡潔な文章を書くことができる。	説明文や電子メールのルールを理解し、大事な要素を落とさず書くことができる。	説明文や電子メールを書くことができない。		
評価項目3	敬語の種類を理解し、状況に応じて適切な敬語表現を使うことができる。	敬語の種類を理解し、間違った使い方を指摘することができる。	敬語の種類を理解せず、正誤の判断ができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1年から3年まで培ってきた国語力をベースに、社会で必要とされる知識、技能を身に付ける。意見文や説明文、敬語などいずれも知性ある社会人に不可欠なことから学び、学生同士添削しあったり共同で考えたりしながら、相互に実力を高めることを目指す。				
授業の進め方・方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>①プリント形式で授業を行う。配布するプリントは必ずファイルし、復習できるようにすること。</li> <li>②あらかじめ指示する課題をもとに授業を展開する。課題を仕上げないと、授業に参加できなくなるので要注意。</li> <li>③継続使用の漢字テキストは原則として授業では使わないが、試験では毎回範囲に組み込むので、各自計画的に学習を進めること。</li> <li>④常に辞書を準備し、分からない語句や漢字の確認をすること。</li> </ol>				
注意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>①課題は期限を守って提出することが必須である。課題の提出がない場合には、評価割合にかかわらず単位を認めない。</li> <li>②年4回の試験に組み入れる漢字の範囲は、年度当初に一年分を明示する。学年終了時には漢字検定2級程度の力となるよう、積極的に学習すること。</li> </ol>				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の進め方、提出物、漢字学習の進め方などの詳細を理解する。	
		2週	①文の添削	話し言葉と書き言葉の違い、文のねじれなどを理解し、正しい文に直す。	
		3週	②文の添削	誤読を防ぐ句読点の位置を理解する。	
		4週	③文の添削	修飾、被修飾の関係を理解し、最適な語順を学ぶ。	
		5週	④文の添削	総合問題に取り組み、よりよい文に直す練習をする。	
		6週	①意見文	新聞の投書进行分析し、良い点を学ぶ。	
		7週	②意見文	個性ある意見文を書き、改善点を指摘しあう。	
		8週	前期中間試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。	
	2ndQ	9週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
		10週	①説明文	説明文の構造を理解する。	
		11週	②説明文	事実と意見を峻別し、混同しない書き方を理解する。	
		12週	③説明文	著作権法、引用のルール、句読点の種類について理解する。	
		13週	④説明文	概要の書き方について練習する。	
		14週	⑤説明文	グループで説明文を書き、相互に批評する。	
		15週	前期定期試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。	
		16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
後期	3rdQ	1週	①敬語	敬語の種類を理解する。(尊敬語、謙譲語Ⅰ・Ⅱ、丁寧語、美化語)	
		2週	②敬語	尊敬語を理解する。	
		3週	③敬語	謙譲語ⅠとⅡの違いについて、立てる先との関係を理解する。	
		4週	④敬語	謙譲語ⅠとⅡの違いについて「ます」との関連を理解する。	
		5週	⑤敬語	単語の切れ目を理解する。	

		6週	⑥敬語	日常でよく使われる言葉について、尊敬語、謙譲語 I・IIへの言い換えを理解し覚える。
		7週	⑦敬語	敬語への言い換えがスムーズにできるようグループで練習する。
		8週	後期中間試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。
	4thQ	9週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
		10週	⑧敬語	二重敬語を理解する。また、文章から登場人物の上下関係について考える。
		11週	⑨敬語	総合問題に取り組み、敬語の間違いを説明し正しく直す。
		12週	①現代仮名遣い	練習問題で現代仮名遣いの習得度をチェックする。
		13週	②現代仮名遣い	現代仮名遣いの本則を理解し、例外を覚える。
		14週	電子メールの書き方	電子メールの特性と使用上の注意点を理解する。
		15週	後期定期試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。
16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100
基礎的能力	90	0	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0